

MD050_SPF_COS_002 HHT帳票	説明: HHT取引データで販売実績テーブル作成後(HHT納品データ取込後)に出力する帳票	作成日	2008/08/18	作成者	SCS中林	更新日	2009/03/13	更新者	SCS中林	Ver.	
-------------------------	--	-----	------------	-----	-------	-----	------------	-----	-------	------	--

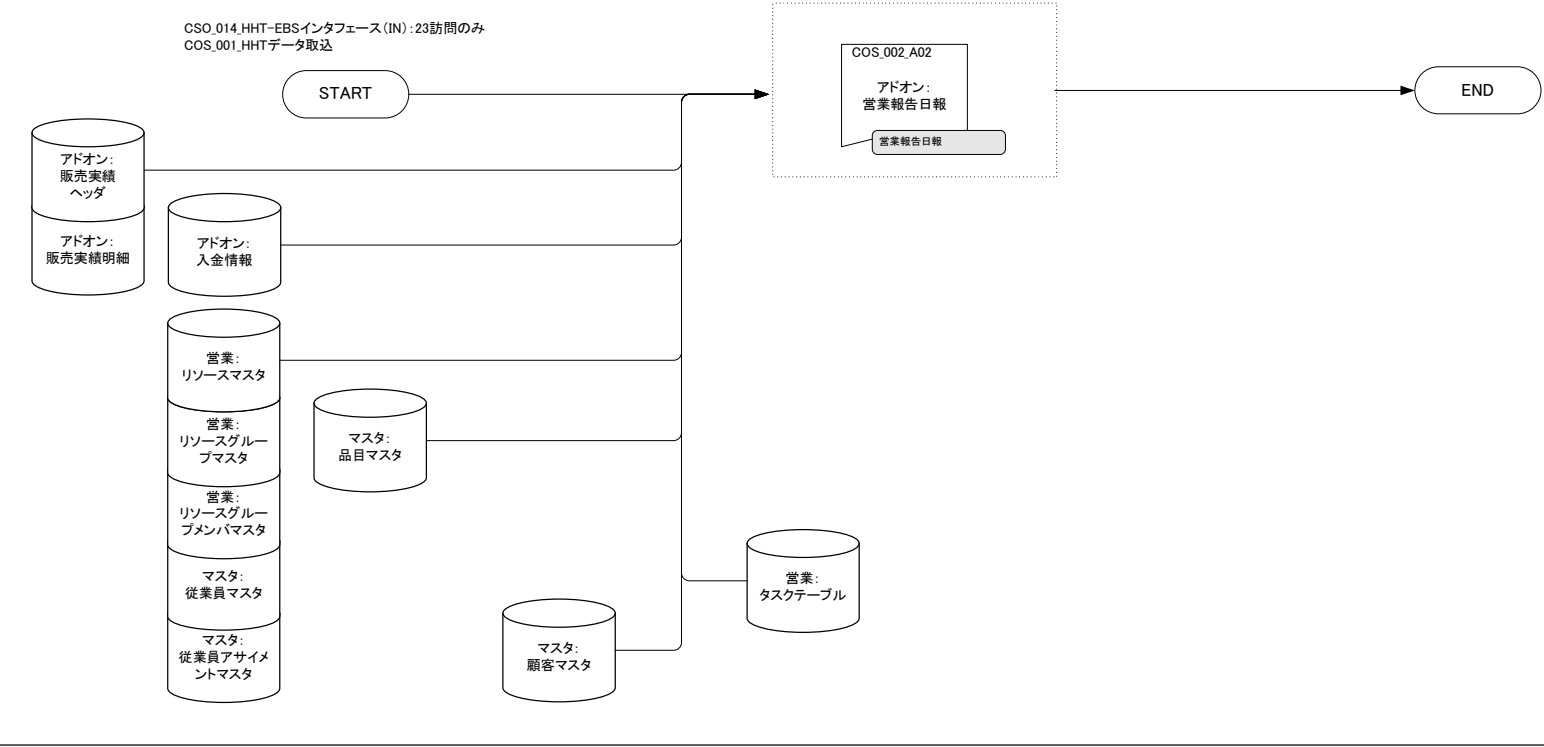
処理概要
営業員が帰社後、当日の成績を確認するために帳票を出力する
①営業報告日報
・現行の営業報告日報にあたる帳票

システム利用者
拠点 営業管理者

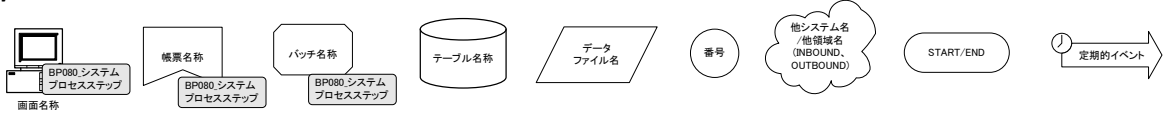
処理タイミング、その他
営業員の帰社によりHHTデータの吸い上げが行われた後、必要に応じて実行する
(HHT納品データおよび訪問実績の取込処理は一時間間隔での定期実行)

システムプロセス 記入時の注意事項

- ・機能単位(標準機能含む)で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



MD050_SPF_COS_002 HHT帳票	説明: HHT取引データで販売実績テーブル作成後(HHT納品データ取込後)に出力する帳票	作成日	2008/06/11	作成者	ORACLE 木村	更新日	2009/03/13	更新者	SCS中林	Ver.	Issue3.0
-------------------------	--	-----	------------	-----	--------------	-----	------------	-----	-------	------	----------

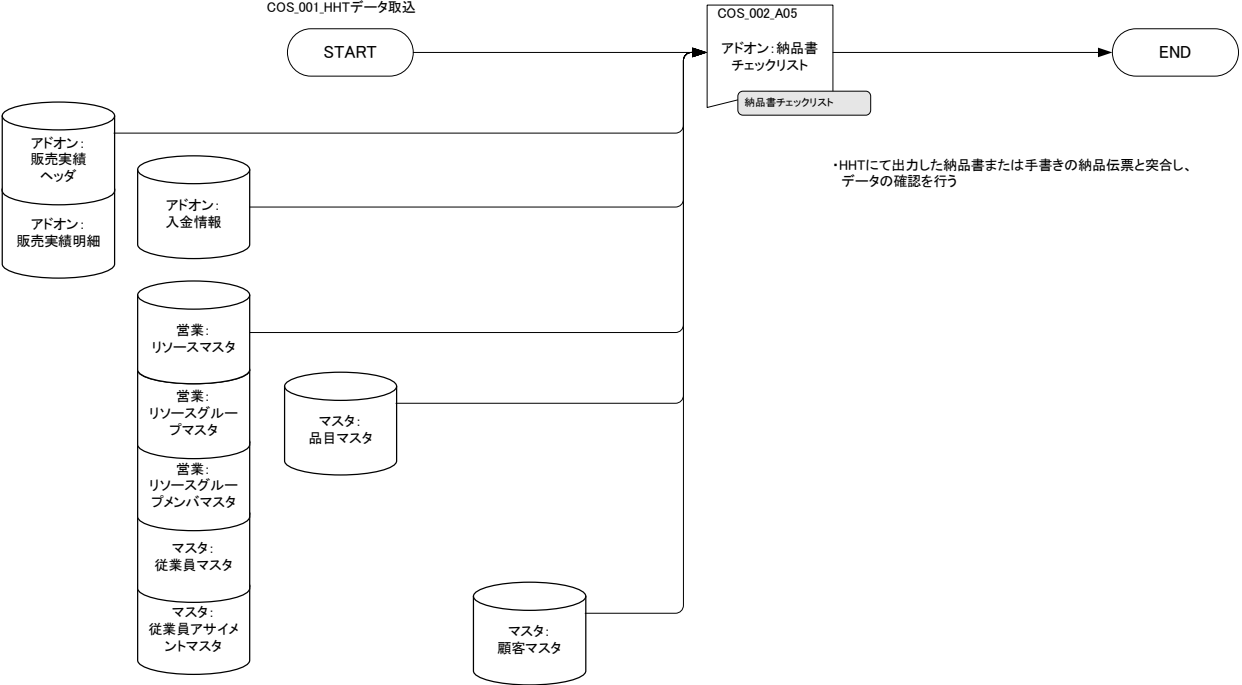
処理概要
HHT納品データから作成された販売実績データの確認を行うために、納品書チェックリストを出力する
HHT納品データは、EBSへ連携されると当日中に販売実績データの作成まで行われるため、データの確認は翌日となる

システム利用者
拠点 内務担当者

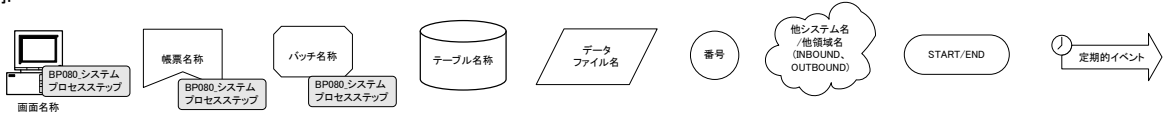
処理タイミング、その他
販売実績データが作成された翌日、必要に応じて実行する

システムプロセス 記入時の注意事項

- ・機能単位(標準機能含む)で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



MD050_SPF_COS_002 HHT帳票	説明: HHT取引データで販売実績テーブル作成(HHT納品データ取込後)及び実績振替データ作成後に出力する帳票	作成日	2008/08/18	作成者	SCS中林	更新日	2009/03/13	更新者	SCS中林	Ver.	Issue3.0
-------------------------	---	-----	------------	-----	-------	-----	------------	-----	-------	------	----------

処理概要

営業員が前日迄の確定実績を確認するために帳票を出力する
①営業員成績表
・現行の営業成績表にあたる帳票

システム利用者

拠点_営業管理者

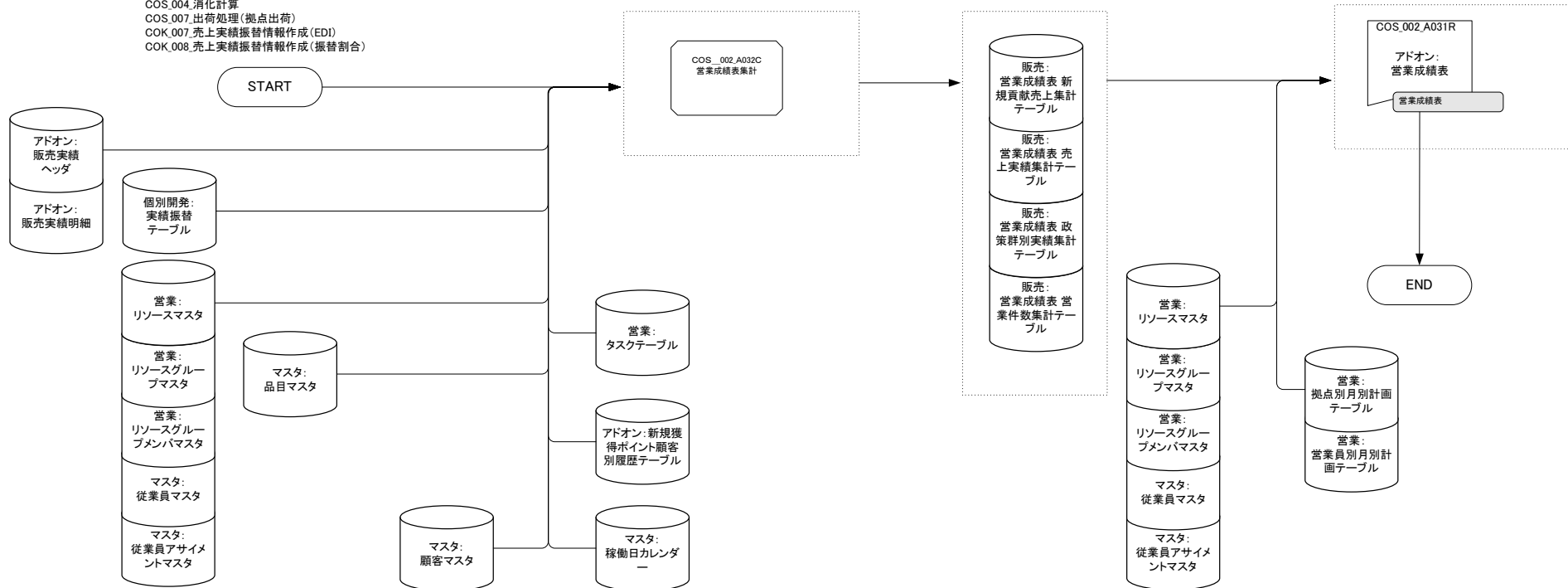
処理タイミング、その他

毎朝、前日の確定した販売実績データの確認に帳票を出力する。

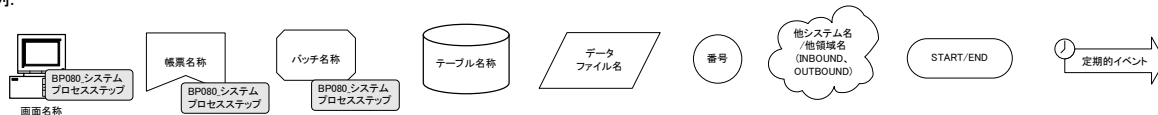
システムプロセス 記入時の注意事項

- ・機能単位(標準機能含む)で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること

CMM.002 従業員マスタの管理
CMM.003 顧客マスタ登録改廃
CSO.014 HHT-EBSインタフェース(IN):23訪問のみ
CSM.004 資格ポイント・新規獲得ポイント
COS.001 HHTデータ取込
COS.004 消化計算
COS.007 出荷処理(拠点出荷)
COK.007 売上実績振替情報作成(EDI)
COK.008 売上実績振替情報作成(振替割合)



凡例:

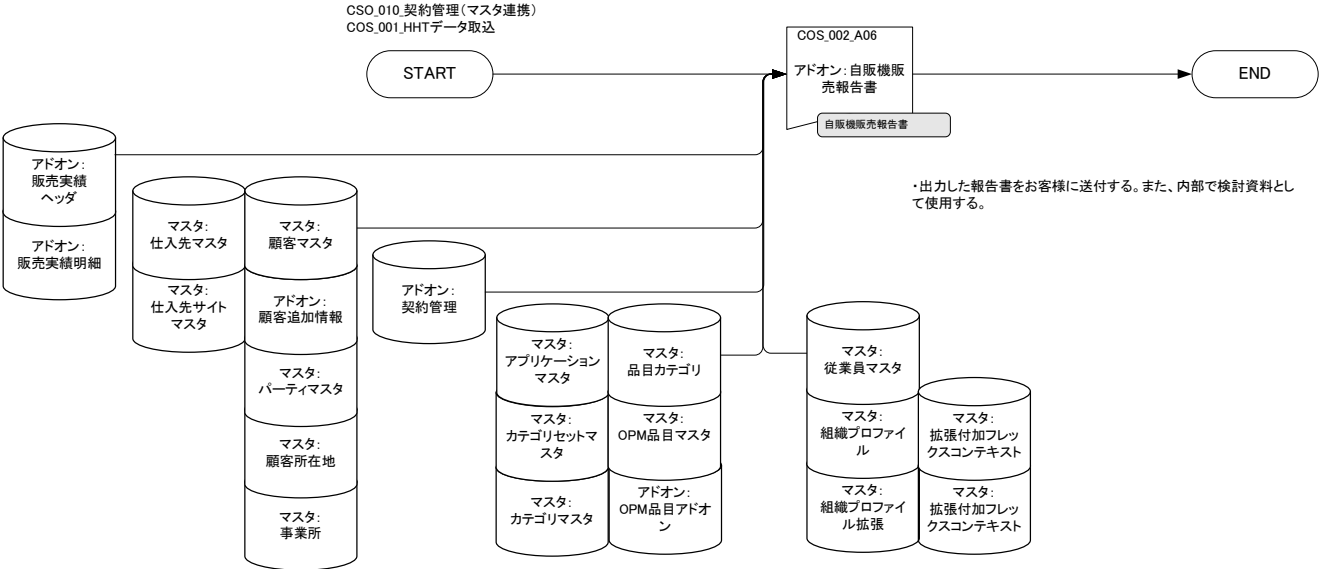


処理概要
HHT納品データから作成された販売実績データから、お客様に送付する自販機販売報告書を出力する。
内部での検討資料としても使用する。

システム利用者
拠点 内務担当者、拠点 営業担当者

処理タイミング、その他
実績確定後の出力となるが、随時実行可能。

- システムプロセス 記入時の注意事項**
- 機能単位(標準機能含む)で記入すること
 - INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
 - I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
 - 左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
 - 1ファイル、1システムプロセスフローとすること
 - フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
 - 1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:

